

がん政策部会

第1回第3次沖縄県がん対策推進計画（がん政策部会案）策定WG議事要旨

- 日時：平成29年6月24日（土）9：00～
- 場所：「3東洋海事ビル」会議室B
- 構成員：5人
- 出席者：2人
埴岡 健一（国際医療福祉大学大学院 教授）
増田 昌人（琉大病院がんセンター センター長、診療教授）
- 欠席者：3人
天野 慎介（一般社団法人全がん患者団体連合会 理事長）
東 尚弘（国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター長）
井岡 亜希子（医療法人ケイズ会茶屋町レディースクリニック 医師）
- 陪席者：岩井 万喜（特定非営利活動法人 がん政策サミット 理事）
新垣 萌未（琉球大学医学部附属病院）

〈 報告事項 〉

1. 策定WG結成の経緯について

6月2日（金）に開催された平成29年度第1回沖縄県がん診療連携協議会において、本年度中に策定予定の第3次沖縄県がん対策推進計画（以下、第3次沖縄県がん計画）に対して、5年前（第2次沖縄県がん計画）と同様に協議会として積極的に意見を出していこうということになった。具体的には、協議会委員、幹事会委員、各部会委員の意見を伺い、取りまとめを、がん政策部会が行うこととなった。

そこで、埴岡部会長と副部会長の増田で協議し、

- (1) 各協議会委員、幹事会委員、各部会委員には、個別に意見を求めるメールを、事務局とがん政策部会長の連名で送る
- (2) がん政策部会として、5年前と同様に、前記の意見等を取りまとめたものを、ロジックモデルにまとめ、沖縄県がん計画（たたき台）を作る（7月9日までに）
- (3) 取りまとめについては、がん政策部会委員全員で集まるのは困難なので、沖縄県がん計画（がん政策部会案）策定WGを作り、その経過を逐次委員へ報告し、委員からの意見等を受けながら修正をしていく

WGは、埴岡部会長、東委員、井岡委員、天野委員と増田の5名として、第1回会合を6月24日（土）9：00～18：00で開催する

結果は、速やかに、全委員へ報告し、意見を求める

- (4) 今後の段取りとしては、

7月10日（月）第2回幹事会で審議；がん政策部会案から幹事会案へ

8月4日（金）の第2回協議会で審議；幹事会案から協議会案へその後、協議会案を沖縄県へ提案する？（予定）ということを計画した。

2. 策定WG委員構成について

増田副部長より、資料1-1に基づき、第3次沖縄県がん計画策定ワーキンググループ委員に、陪席として岩井 万喜さん、新垣 萌未が加えられたことが報告された。

3. 計画策定のスケジュールについて

増田副部長より、資料2に基づき、計画策定のスケジュールが確認された。

〈 審議事項 〉

1. 計画策定方針について

増田副部長より、資料3に基づき、第3次沖縄県がん計画（がん政策部会案）策定方針の報告がされた。

第一目標として、平成29年7月10日（月）の第2回幹事会において第3次沖縄県がん計画のがん政策部会案のたたき台の提出を予定している。その段階においてロジックモデル及び文書まで作成された状態で提出するかどうかを検討し、基本的にはロジックモデルの形（一部は書き下し文を含む）で提出することとなった。

2. 計画の構成；分野分けについて

増田副部長より、資料4作成の基本方針について説明があった。第2次沖縄県がん計画中間評価の時は、分野を書き直していたが、今回は国の第3期がん対策推進基本計画案（以下、第3期基本計画）（案）の目次（分野分け）に準拠して資料4の分野分けをしたと説明があった。

埴岡部会長より、県庁のニーズとして、①がん対策の分野分けが国と一緒である、②簡素化されている、③県の第2期がん対策推進基本計画と第3期がん対策推進基本計画の対応関係が明確である、という点であり、国のがん対策推進基本計画を県へ移行する際に違和感がなく、また簡素化された執行しやすい状態へと落とし込む必要性があるとの意見があり、協議の結果、埴岡部会長の意見を採用することとなった。

3. 計画の構成；ロジックモデルと書き下し文について

まずはロジックモデルを完成させ、その後、モデルを参考に書き下し文を書くこととした。構成は分野ごと数ページの書き下し文と1ページのロジックモデルとした。

4. 「全体目標」について

協議の結果、国の第3期基本計画と同じとすることにした。

5. 「分野別施策と個別目標」のロジックモデルについて

これまで同様に施策に優先順位をつけることとした。

がん政策部会

第2回第3次沖縄県がん対策推進計画（がん政策部会案）策定WG議事要旨

- 日時：平成29年7月1日（土）9：00～
- 場所：テルヴァイアン東京大井町3F会議室
- 構成員：5人
- 出席者：4人
埴岡 健一（国際医療福祉大学大学院 教授）
天野 慎介（一般社団法人全がん患者団体連合会 理事長）
東 尚弘（国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター長）
増田 昌人（琉大病院がんセンター センター長、診療教授）
- 欠席者：1人
井岡 亜希子（医療法人ケイズ会茶屋町レディースクリニック 医師）
- 陪席者：岩井 万喜（特定非営利活動法人 がん政策サミット 理事）
大久保 礼子（琉球大学医学部附属病院）

〈 報告事項 〉

1. 策定WG結成の経緯について

6月2日（金）に開催された平成29年度第1回沖縄県がん診療連携協議会において、本年度中に策定予定の第3次沖縄県がん対策推進計画（以下、第3次沖縄県がん計画）に対して、5年前（第2次沖縄県がん計画）と同様に協議会として積極的に意見を出していこうということになった。具体的には、協議会委員、幹事会委員、各部会委員の意見を伺い、取りまとめを、がん政策部会が行うこととなった。

2. 策定WG委員構成について

増田副部長より、資料1-1に基づき、第3次沖縄県がん計画策定ワーキンググループ委員に、陪席として岩井 万喜さん、新垣 萌未が加えられたことが報告された。

3. 計画策定のスケジュールについて

増田副部長より、資料2に基づき、計画策定のスケジュールが確認された。

4. 計画策定方針について

増田副部長より、資料3に基づき、第3次沖縄県がん計画（がん政策部会案）策定方針の報告がされた。

第一目標として、平成29年7月10日（月）の第2回幹事会において第3次沖縄県がん計画のがん政策部会のたたき台の提出を予定している。その段階においてロジッ

クモデル及び文書まで作成された状態で提出するかどうかを検討し、基本的にはロジックモデルの形（一部は書き下し文を含む）で提出することとなった。

5. 「全体目標」について

協議の結果、国の第3期基本計画と同じとすることにした。

6. 第1回WG議事要旨

増田副部長より、資料12に基づき、第1回WG内容が確認された。

〈 審議事項 〉

1. 分野整理について

岩井さんより、資料4、13に基づき、国の第3期がん対策推進基本計画（以下、第3期基本計画）の全体目標である（1）がんによる死亡者の減少（2）すべてのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上（3）がんになっても安心して暮らせる社会の構築、の3つの目標柱を前提として、第2期沖縄県がん対策推進計画の構成をベースに第3期がん対策推進基本計画案の目次（分野分け）と合冊し、分野整理をしたと説明があった。天野委員より、“緩和ケア”を医療分野へ入れ込んだ理由を質問が出され、それに対し岩井さんより、「第1回WGの際に埴岡部長と増田副部長の議論の結果、沖縄県第3期がん対策推進計画案においては第3期基本計画案より全体的に医療を重視する方向性で作成されていくこととなり、そのため“緩和ケア”と“ライフステージに応じたがん対策”の分野も医療分野へと入れ込む結果となった」との説明があった。

2. 計画見本について

「がんの早期発見・がん検診」分野について、がん政策部会案を検討し文案を作成した。

3. 各分野のロジックモデル、特に分野アウトカムと中間アウトカムについて

「緩和ケア」「相談支援・情報提供」「就労を含めた社会問題」「医療提供体制」「がん医療と人材育成」「がんの早期発見・がん検診」「がんの1次予防」「在宅」「ライフステージに応じたがん対策」「がん登録」「がん教育」「希少がん・難治性がん対策」、以上の各項目について、中間アウトカム・最終アウトカムを決定した。

がん政策部会
第3回、第4回第3次沖縄県がん対策推進計画（がん政策部会案）策定WG
議事要旨

日時：平成29年7月8日（土）9：00～18：00
平成29年7月9日（日）9：00～18：00

場所：テルヴァイアン東京大井町3F会議室

出席者：埴岡 健一（国際医療福祉大学大学院 教授）
天野 慎介（一般社団法人全がん患者団体連合会 理事長）
井岡 亜希子（医療法人ケイズ会茶屋町レディースクリニック 医師）
増田 昌人（琉大病院がんセンター センター長、診療教授）

陪席者：岩井 万喜（特定非営利活動法人 がん政策サミット 理事）
新垣 萌未（琉球大学医学部附属病院）

欠席者：東 尚弘（国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター長）

〈 報告事項 〉

1. 第2回WG議事要旨

増田副部長より、資料18に基づき、第2回WGの内容が確認された。

2. 計画策定のスケジュールについて

増田副部長より、資料19に基づき、計画策定のスケジュールが確認された。

〈 審議事項 〉

1. 第3次沖縄県がん対策推進計画（以下、本計画）（がん政策部会案）分野分けの最終確認について

増田副部長より、資料20、資料21に基づき、本計画（がん政策部会案）の分野分けが確認された。

2. 分野分けの理由説明について

増田副部長より、以下の説明があった。

平成27・28年度沖縄県委託事業「がん対策推進計画中間評価検討業務委託事業」の時は、分野を最適な中間評価ができるように書き直した。

今回、本計画（がん政策部会案）の策定にあたっては、「沖縄県第2次がん対策推進計画（以下、2次計画）からの継続性を維持する」「国の第3期がん対策推進基本計画（以下、国の3期計画）に新たに盛り込まれた内容をもれなく加える」という方針をとった。そのうえで、沖縄県の実情に応じて新たに分野分けをした。

3. ロジックモデル 分野別施策について

今回の本計画（がん政策部会案）の策定にあたっては、ロジックモデルを使って、策定を進めることの確認が改めて WG 内で確認された。

4. 第2回幹事会 審議事項「第3次沖縄県がん計画（がん政策部会案）」について

増田副部長より、7/10（月）の第2回幹事会において本計画（がん政策部会案）策定 WG より作成されたロジックモデルを資料として提出することが報告された。

5. 計画 全体構成について

増田副部長より、資料25に基づき、全体構成については国の第3期計画（案）の全体構成をそのまま踏襲する提案が改めてなされ、WG 委員からも了承された。

6. 計画 「はじめに」について

この部分については、国の第3期計画（案）の内容を吟味して、増田副部長がたたき台を作ることとなった。

7. 計画 「第1 全体目標」について

全体目標については、国の第3期基本計画（案）の全体目標の構成をそのまま踏襲すること、具体的な生存率の目標設定については、個別に井岡委員と協議することとなった。

8. 計画 「第2 分野別施策と個別目標」について

前述した分野分けに従って、「がん医療と人材育成」「在宅医療」「緩和ケア」「ライフステージ」「希少・難治性がん」「離島」「支援」「就労」「教育」「登録」「医療提供体制」「がん予防」の各項目について、各分野の施策を決定し、指標を決定した。

9. 計画 「第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項」について

こちらに、「モニタリング体制の充実（「がん登録」を含む）分野を加えて記載することとなった。

10. 次回 WG の計画について

まずは、増田副部長が、この WG の協議結果をまとめて、ロジックモデルおよび書き下しの文章を書いてたたき台とし、それをみて、再度 WG を開催するかを検討することとなった。